

■基本情報

- ・ 社会福祉法人北アルプスの風
- ・ 介護老人福祉施設
- ・ 大町市大町3504-1
- ・ 利用者数：58名、従業員数40名

※利用者数及び従業員数は令和6年1月1日時点



外部からの見学受入



スマイルジョブプロジェクト

■主な取組概要

生産性向上の取組

- ✓ **全床（58床）に見守り機器を導入。**導入前は、頻回な巡視が必要であったが、端末への通知により訪室の判断ができるようになり、職員の肉体的・心理的負担の軽減につながっている。
- ✓ **外部からの見学**にも丁寧に対応。

人材育成に係る取組

- ✓ **法人グループ内で研修制度**があり、等級別、世代別、専門知識別で学びの機会を設けている。
- ✓ **人事制度（キャリアパス）を導入し、年2回の個別面談**を実施。課題の抽出や目標の進捗確認から悩み事の相談など、働きやすい環境づくりに努めている。
- ✓ ソフトバレー、卓球、料理教室など**人間関係向上や職員の親睦を深める「スマイルジョブプロジェクト」**を実施。
- ✓ **資格取得費用の免除制度**あり（直運営の学校法人で資格取得しやすい環境にある）。

■主な成果

- ✓ 法人独自の資格取得制度により、資格取得すると手当が支給されるため職員満足度の向上につながった。
- ✓ 「スマイルジョブプロジェクト」により職員の親睦を深めることで、モチベーションアップにつながった。（参加者：10名→40名）
- ✓ 年2回の面談により悩み等を相談することで、職員のフラストレーションの軽減が図られ、職務遂行意欲が高まっている。
- ✓ 自主性・積極性のある職員が育ってきた

■その他

- ・ 令和5年度長野県介護技術コンテストにて優秀賞獲得
- ・ 介護福祉士養成施設などに出向き研究発表

■基本情報

- ・ 医療法人丸山会
- ・ 介護老人保健施設
- ・ 上田市御所666
- ・ 利用者数：86名、従業員数65名

※利用者数及び従業員数は令和6年1月1日時点



プロジェクトチーム会議の様子



課題抽出のためのアンケート

■主な取組概要

生産性向上の取組

- ✓ 2023年、国ガイドラインの手順に従いキックオフ宣言。プロジェクトチームを立ち上げ、毎週、会議で検討を行う。
- ✓ 課題抽出のためのアンケートを実施。課題は「過去に導入した介護記録ソフトが使いこなせていないこと」であった。最も業務負担感が高かった入所業務での介護記録ソフト活用から取り組むこととし、PCスキルのある職員を集め「介護記録ソフト操作研修チーム」を立ち上げた。「利用者をケア内容ごとにグループ化し記録を効率化」「紙から転記していた食事記録を直接介護記録ソフトに入力」など小さな課題から取り組む。
- ✓ 活動準備の段階で以下に掲げる情報共有の工夫を行った。
 - ①全職員とプロジェクトの進捗状況を共有するため職員専用ホームページを作成。
 - ②LINE WORKSを導入し、効率的な情報共有を実施。
 - ③全職員へ向けて業務改善活動についての研修会を複数回開催。
- ✓ 介護ロボット・ICT機器への理解を深めるため、見守りセンサーの試用や施設見学を実施。その結果、活動に賛同する職員が増え、特に若い職員から業務改善アイデアや意見が集まるようになった。

■主な成果

- ✓ 職員のワークエンゲージメント測定（UWES-9※）

職員全体	2.86→3.04
管理職	3.20→3.47
一般職	2.52→2.60
- ✓ 業務負担を感じる職員の割合
85.0%（2023.12）→70.6%（2024.3）
- ✓ 生産性向上の取組について「少し良い変化を感じている」と回答した職員 34%

※ユトレヒトワークエンゲージメント尺度の略。「活力」「熱意」「没頭」の3つの要素に関する9問の質問で構成。